



目標に向かうことから全ては始まる

一橋大学 商学部4年 海汐 広大

私が宮崎県立延岡商業高校に入学したのは、今から7年程前になります。その頃、私は税理士になることが目標でした。税理士を受験するためには、日商簿記1級を取得する必要があります。そのためにまずは、日商簿記1級の取得を目指しました。

私は税理士の勉強を始めるには早い方が良いと思い、中学3年生の時に日商簿記3級を取得していました。高校入学後は2級に挑戦しましたが、二度失敗してしまいました。今思えば、勉強の仕方が間違っていたことが分かります。しかし、当時は日商簿記2級がとても難しいものに思え、自分には税理士になるのは無理なのではないか、勉強をやめて他のことをした方が良いのではないかと考えていました。ちょうどその頃、私の一学年先輩の延商会計科一期生が2級の課外授業を受講していることを聞き、会計科の先生に相談しました。そして、先輩たちと一緒に授業を受けることを引き受けていただき、もう一度努力することにしました。その結果、高校1年の11月に日商簿記2級を取得することができました。その後、会計科の先輩たちと1級受験対策の授業にも出席し、高校2年の11月に1級を取得することができました。この時は2級を受けた時の失敗から、問題を解く量が合否を分けることを学んでいましたので、ひたすら模擬試験問題を解きました。また、会計科の先生が熱心に指導して下さったので、万全の状態で試験に臨むことができました。

それからすぐに税理士試験の勉強を始めればよかったのですが、少し気が抜けて高校3年生になるまで税理士の勉強を始めませんでした。その結果、高校3年の8月には税理士の簿記論と財務諸表論を受けましたが、勉強不足もあり、両科目とも不合格となりました。この時、このまま税理士の勉強をして税理士になったとしても、税理士として成功するためには、もっと幅広い知識を身に付ける必要があると感じていました。そこで大学に進学して様々な

知識を身に付けたいと思うようになりました。

その頃、指導して下さった先生から、一橋大学の商学部専門高校選抜という入試制度があり、全国の商業高校から5人だけ入学することができるということを聞き、勧められました。そこで新たな目標を模索していた私は、一橋大学を受験することを決意しました。ちょうど決意したのは、税理士試験が終わった3年の8月頃でした。それからセンター試験に向けて勉強を始めました。商業高校では商業科目を中心に学んでいましたが、5教科については、あまり興味もなく勉強していなかったので大変でした。しかし、受験に向けて先生方が放課後などに指導して下さり、何とかセンター試験でも一定レベルの点数は取れるようになりました。それでも、英語は大の苦手で、その時まで勉強すらしたことがなかったもので、とてもつらかったのを覚えています。幸い一橋大学は、受験科目で簿記を選択することができたので、どうにか合格することができました。私は、この時、一つの目標を達成できた充実感と新しい世界への期待感でいっぱいだったことを覚えています。

大学に入ると、やはり一般教養の授業が大変でした。1、2年の頃は勉強と言えば英語以外ほとんど勉強しませんでした。それでもどうにか必修の単位を取得することができました。しかし3年にもなるとほとんど学部の専門的な授業ばかりになります。私は商学部経営学科でしたが、商業高校で基礎は学んでいたため、会計以外の科目でも比較的楽に単位を取得することができました。

この頃になるとコンサルティング系の仕事に興味を持っていたので、資格の勉強をあまりやる気になりませんでした。正直なところまた毎日勉強という地獄の生活には戻りたくないと思っていたので、資格を取ろうとは思いませんでした。

しかし、同じ学部で私と同じく商業高校から入学

していた友達が、公認会計士の勉強を始めました。私は最初全くやる気がありませんでしたが、コンサルティングをするにしても会計士という資格があるのとないのとは違うだろうと思うようになり、一年間だけ会計士の勉強をしようと決意しました。それから、大学3年の9月から翌年の会計士試験を目標に勉強を始め、会計士受験の予備校に通い始めました。

今まで、何度も資格試験を受験し、成功や失敗を繰り返してきた経験から、どのような勉強をすればいいのかは、なんとなく分かっていました。その勉強方法とは、試験の日から逆算して今日の自分が達成しなければならないレベルを定め、一日の勉強が終わった時に達成しなければならないレベルと、今現在の自分のレベルとの乖離を少なくする努力を毎日続けていくことです。この一年間はとても辛いものでしたが、毎日10時間程の学習を行い、上記のことを繰り返すことによりどうにか合格することができました。

そして、合格発表後、昨年10月から監査法人で働いています。監査法人とは公認会計士のみが社員となって構成される組織体であり、組織的・効果的かつ効率的に監査を行うことを目的としているも

のです。日本には四大監査法人というものが存在し、大企業の会計監査のほとんどはこの四つによって行われています。現在の仕事は、私の部が担当する会社に行き、会計監査を行うことです。会計監査とは、分かり易く言うなら、企業が「今期××の利益が出ました。」と発表するに当たって、それが本当かどうかを検査することです。私は、まだ一年目ですので、先輩たちの力を借りて一人前の会計士になれるよう日々努力しているところです。

私は現在大学4年生ですが、これまでの経験から、まず目標を持つことが大切だと思います。そして、その目標をいつ達成するかを定め、それを達成するために自分が今日すべきことを、着実にやっていくことが大切です。そうすれば必ずと目標は達成されると思います。現在、高校生の皆さんはこれから様々なことに挑戦できる可能性を秘めていると思います。自分のやりたいことが見つかったなら、それに向かって、一生懸命努力してください。現在の努力の度合いによって、将来は変わっていくと思います。私も、これから新たな目標を見つけ、そして、それに向かって自分自身を奮い立たせ、また挑戦できればと思います。

実教出版発行 日商検定・連教材

合格学習システム 教えて！NE for School

検定試験に合わせたCD-ROM教材なので、各自の理解・度に合わせて学習できます。

日商簿記検定2級工業簿記 定価21,000円
日商簿記検定2級商業簿記 定価21,000円
日商簿記検定3級 定価21,000円
※それぞれスクールパックがあります。

- 特徴① 先生をサポート！
メールによるご質問の受付や、最新情報のご提供で先生をサポートします。
- 特徴② 充実の学習システム！
講義→確認問題→完成問題→まとめ問題→模擬試験問題の充実した学習システムです。
- 特徴③ 楽しく学習！
最後に修得度がわかるので、楽しく自習することができます。

平成16年度版 日商簿記検定模擬試験問題集

2級 商業簿記 工業簿記 定価840円
3級 商業簿記 定価750円

ジャンル別 日商簿記検定試験演習

2級 定価830円
3級 定価740円

最新段階式 日商簿記検定問題集

2級 工業簿記 定価860円
2級 商業簿記 定価950円
3級 定価900円